

3/4 子育てサロンのひなまつり



子育てサロンで、手作り菓子を楽しむひなまつりの会が開かれました。

菓子作りは、村健康福祉課健康系の保健師と管理栄養士がお手伝い。桜餅の皮をホットプレートで焼き、サツマイモのあんを包んで雛人形に見立て、一皿を仕上げます。保護者と子どもたちは和やかに共同作業を楽しみました。工夫を凝らしフルーツなどを飾って完成です。皆でおいしくいただきました。



▲コツをつかんで上手に焼けましたね

お母さんたちも楽しそう▶



支え合う力、支援への感謝をこめて

3/5



◀震災後の取り組みを讃える表彰状を手に

郡山市の「ビッグパレットふくしま」で開かれた県社会福祉協議会主催「明日に向かう社会福祉のつどい」の中で、「東日本大震災に関する社会福祉功労団体」の表彰が行われました。村社会福祉協議会をはじめ村民生児童委員協議会や「いいたてホーム」が表彰された他、仮設住宅訪問を行ってきた飯館中学校や県内外の9つの支援団体なども、村社会福祉協議会の推薦により表彰を受けました。



▲中学生の仮設住宅訪問は一昨年（写真は昨年5月）。表彰された中学校は1校のみ

2/26 葛巻町から  
おいしいそばを



挨拶する  
高家さん夫妻



◀「普段は飲まないつゆまできれいに。そばが本物ですね」と横田フミエさん（草野）

岩手県葛巻町に、直売所と手打ちそばの店「森のそば屋」を構える高家卓範さん・章子さん夫妻が、店舗スタッフと共に松川第一応急仮設住宅を訪れ、そばを振る舞いました。「森のそば屋」は地域産のそばを水車で引く人気店。高家さんは震災以前から視察などで村を訪れており、「おばあちゃんたちが丁寧に作ったそばを、どうぞ楽しんで」と笑顔で住民に話しかけていました。



▲黛さん(左)と菅野さん

村も葛巻町も「日本再発見塾」の開催地。その縁で同行した俳人の黛まどかさんと、かつて俳句で交流した村民が再会に話はずませていました。黛さんに歩み寄り、「『稲刈りを終えて夕星 鴨の群れ』という句を選んでもらったことがあるんです」と話しかけたのは、菅野ハルヨさん（写真右・小宮）。黛さんは「今も作句をしていますか」などと笑顔で聞き返し、菅野さんの話に耳を傾けていました。

ありがとう「ウルトラ警察隊」

2/26

全国から福島県警察本部に特別出向し避難指示区域のパトロールや仮設住宅の巡回などを続ける「ウルトラ警察隊」に感謝を伝えるため、福島警察署管内で支援を受けてきた仮設住宅の自治会役員ら13人が同署を訪問。交流のようすを紹介しながら感謝を伝え、住民手作りの小物などを隊員に贈りました。また「ウルトラ警察隊」からは支援の継続が伝えられ、寄せ書きが各自治会に贈られました。



▲被災地と誠実に向き合い支援を行う隊の皆さんに信頼と感謝を伝えました